

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

## ～目 次～

◆ 重点項目の実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
◆ 法人運営事業【総務係】	・ ・ ・ ・ ・	P6
◆ 地域福祉事業【地域福祉係】	・ ・ ・ ・ ・	P13
◆ 生活支援事業【生活支援係】	・ ・ ・ ・ ・	P27
◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】	・ ・ ・ ・ ・	P36
◆ 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】	・ ・ ・ ・ ・	P47
◆ その他	・ ・ ・ ・ ・	P52
◆ 事務機構図	・ ・ ・ ・ ・	P53

# 令和5年度 事業報告書

令和5年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉計画及び中期経営計画、年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

## ＜重点項目の実績＞

### 1 組織基盤の強化

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

中期経営計画に基づき、法人の使命、経営理念の実現に向け、組織基盤の強化に努めました。

本年度は、会員の拡充として、2つの社会福祉法人が特別会員として参画していただきました。今後も引き続き、周知を行い加入促進を図っていきます。また、リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化として、意識を高めるための職員研修を実施しました。今後は各係で業務におけるリスクを洗い出し、管理体制の整備を進めていきます。

財政面においては、令和5年度の法人全体の収支状況はプラスの収支差額となりました。本年度から生活介護事業所なかまの部屋を閉所したことで、大幅に収支状況が改善されました。しかし訪問介護事業拠点区分では、介護職員の減に伴う利用者減により、マイナス収支差額となっています。引き続き三役会等で福祉サービス事業についての経営分析を行い、今後も安定した事業経営を行っていきます。

また、人材確保、人材育成が喫緊の課題となってきたことから、採用時期、募集方法などの検討を行うとともに、人材育成計画・研修計画に基づき、安定した人材確保及び質の高い人材育成を目指し取り組んでいきます。

### 2 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の推進

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市が令和4年度から取り組んでいる本事業について、本会としても市と一体となって、複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談支援包括化推進員と本会に配置しているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が連携し、課題解決に向けて取り組みました。

毎年、市と社協が行政の窓口業務を担う部署や小中学校、関係機関等に説明を行うことで、事業も認知されてきており、課題解決に向けた担当者会議においてもスムーズに役割分担が行えるなど少しずつ多機関協働による包括的支援体制が整備されてきています。また、この取り組みについては、本年度も県内外の大学や行政、他市町の社協からの依頼を受け、実践発表等を行ったところです。

令和5年度の相談件数は、新規65件（前年比+15）、延べ1,400件（前年比△12）と多くの相談支援にあたりました。本年度は課題であった社会参加や就労などの出口支援として、市とともに亀山市参加支援（就労体験等）事業を立ち上げ、福祉サービス事業所や民間事業所などに就労体験等の場を提供いただき、社会とのつながりづくりとして令和5年10月から事業を実施しま

した。今後も一人ひとりのニーズに合った支援ができるよう新たな事業所への働きかけや居場所づくりを進めていきます。

今後も引き続き、重層的支援体制整備事業の中で位置づけられている「包括的相談支援事業」「多機関協働事業」「アウトリーチ事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」の各事業について、本会に配置している、各部門の専門職が各機関と情報共有・連携しながら個別支援、地域支援、しくみづくりを行い、コミュニティソーシャルワークの充実に努めていきます。

### **3 成年後見サポート事業の推進**

---

#### **〔実績評価及び今後の課題〕**

本事業を受託し、2年目となった令和5年度の相談件数は新規35件、延べ相談件数143件でした。新規相談の経路としては、主に本人及び親族等からの相談と地域包括支援センターや障害者総合相談支援センター等の関係機関からの相談が約半数ずつとなっています。

本年度は、市と共催で関係機関や市民を対象にしたシンポジウムを開催しました。約230名と多くの方々に参加いただき、成年後見制度の概要や取組状況を周知する良い機会となりました。また、相談窓口の案内や制度の周知を行うため、市内全ての金融機関を訪問し、聞き取り及び意見交換を実施しました。支援が必要な方への対応等について、今後も引き続き金融分野との連携を図っていきます。

また、昨年度から開催している、法福連携ネットワーク協議会や成年後見サポート（受任調整）会議に加えて、本年度から後見人等の選任後に情報共有を行い、支援の方向性を協議するチーム会議を6回開催しました。被後見人等の権利擁護に加えて、後見人等が一人で抱え込むことがないように、適宜ケース検討を行うなど後見人等の支援を行っていきます。

さらには、本会が後見人業務を担う法人後見も1件受任しており、今後も市と連携しながら相談体制の充実を図り、事業の推進に努めていきます。

### **4 地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化**

---

#### **〔実績評価及び今後の課題〕**

鈴鹿亀山地区広域連合から基幹型地域包括支援センターを受託し、困難事例等の対応支援や地域ケア個別会議・圏域会議の開催支援等、各地域包括支援センターの運営業務の後方支援を行ってきました。

多職種の専門的な助言を通じケアマネジメントの質の向上につなげる自立支援型地域ケア会議を定期的開催するほか、市内の介護支援専門員に対して情報提供を行い、地域包括支援センターとともに市内の介護支援専門員のスキル向上に努めました。また、高齢者虐待防止に関して、令和6年度から全ての介護サービス事業所において虐待防止措置を講じることが義務付けられることから、福祉サービス事業所を対象とした高齢者虐待防止研修会を行い改正事項の理解を深めました。

今後も各職種ごとのワーキングや研修会等を開催し、運営業務の平準化を図るとともに、地域ケア会議を通じて地域課題の把握や、地域支援ネットワークの構築に努めていきます。

生活支援コーディネーターが中心となって推進している、地域における支え合い・助け合いのしくみであるちょこボラ（ちょこっと・ボランティア）については、市まちづくり協働課と共催で市内のまちづくり協議会を対象に「ちょこボラに関するアイデア」をテーマに交流会を開催し、

周知・啓発を行いました。令和5年度は新たに市内5地区で立ち上げ等に関する支援を行ったことから、引き続き地域の状況を把握しながら継続的に支援を行っていきます。

認知症の人やその家族への相談業務や認知症に対する正しい知識の普及のため、市と社協に配置している認知症地域支援推進員が中心となり、認知症サポーター養成講座を開催するとともに、市と連携してメッセージ動画の作成・放映等を行いました。また、認知症初期集中支援チームが本人や家族、地域の支援者等から相談を受け、医療機関や福祉サービスにつながるよう支援をしています。本年度は効果的に事業が進められるように市と役割分担を行ったことから、今後も市との連携を強化し、一体的に取り組んでいきます。

## 5 ボランティア活動の推進及び災害ボランティアセンターの機能強化

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。ボランティアセンター登録者数は年々減少傾向にはありますが、ボランティアコーディネート数は昨年度より増加しました。これは市内のいくつかの企業から地域貢献活動としてボランティア活動に対する相談があり、ニーズに応じたマッチングに結びついたことが要因です。

今後もニーズや状況に応じて、生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーと連携し、ボランティアや市民活動による支援を必要としている人と活動団体をつなげるコーディネート機能の強化を図りながら、引き続きボランティアセンター登録団体の周知・PRを積極的に行っていきます。

災害ボランティアセンターについては、昨年度の設置・運営訓練において課題があった災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しを行い、行政をはじめ関係団体、ボランティア、近隣社協など多数の関係機関の参画のもと、設置・運営訓練を開催しました。オリエンテーション動画の作成や受付時の二次元コード導入など内容を充実させるとともに、行政をはじめ関係団体、ボランティア、近隣社協のほか、本年度から地域包括支援センターや障害者総合相談支援センターにも参画いただき、実際の災害時を想定した訓練を行うことができました。

また、広域的な災害に備え三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会では昨年度に引き続き研修会を実施し、平時より顔の見える関係性を構築し、連携強化に努めています。

## 6 サロン活動の推進

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンは、新規で6か所立ち上がり計85か所（前年比+1）、子育て中の親子対象の子育てサロンは計4か所（前年比△1）、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンは新規で3か所立ち上がり計15か所（前年比+1）となりました。昨年度と比較して1か所増の合計104か所でサロン活動が行われました。各サロンに助成を行うとともに、地域の状況や福祉課題の把握に努め、活動の情報発信を行いました。各サロンとも年間をとおしたサロン活動が行われるようになりコロナ禍前の状態に戻ってきています。

また、生活支援コーディネーターなどが中心となり、対象者別のサロン交流会を開催し、団体同士での交流を深めたほか、ふれあい・いきいきサロンの情報を多職種連携情報共有システム（バ

イタルリンク)において共有し、ケアマネジャーからの依頼を受け、サロンを利用したいというニーズと団体のコーディネートを行いました。

引き続き、団体の活動状況や、活動する上での課題の把握を行うとともに、高齢者等の通いの場としてより身近な地域での開催が期待されるサロン活動をさらに広げていきます。

## 7 福祉教育推進事業の充実

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

市内の学校(園)に様々な福祉体験学習やボランティア活動、地域のサロンとの交流を通して、福祉に関する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しました。令和5年度より2年間、川崎愛児園、昼生小学校、亀山高等学校の3校(園)をモデル校に指定し、社協と協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みました。

また、中学生福祉体験教室について4年ぶりに開催することができました。市内の高齢者、障がい者施設・事業所をはじめ、本年度から新たに市内の私立の保育所にも受入れしていただき、若い世代が広く福祉の現場に触れる機会がもてるように取り組みました。また、生徒による街頭募金活動については、従来の募金活動に加え、能登半島地震の義援金募金活動も実施しました。

モデル校以外の学校からの車いす体験や点字ブロック、ユニバーサルデザインについてなどの福祉教育の授業依頼も増加してきており、本会のすべての部門の職員が福祉教育の視点を持ち、本事業に参画し、専門性を活かして学校と関われるよう、引き続き学校(園)と連携しながら積極的な福祉教育の推進に取り組んでいきます。

## 8 福祉サービス事業の充実

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

生活介護事業としては、令和4年度末でなかまの部屋を閉所したことに伴い、令和5年度よりつくしの家のみでの事業運営となりました。利用者についてもスムーズに移行ができ、混乱もなく日中活動に取り組むことができました。徐々にコロナ禍前の行事や地域交流もできるようになってきたことから、引き続き利用者一人ひとりに合った支援を行っていきます。

特定・障害児相談支援事業所を含めた障害福祉サービス事業所としての収支状況は、前年度までのマイナス収支差額は大きく改善されました。今後も継続して安定した経営に努めていきます。

訪問介護・居宅介護事業については、登録訪問介護員の退職に伴う補充ができず、新規利用者の受入が積極的にできない状況が続いています。これにより、介護保険事業収入等が減少してきており、収支状況もマイナス収支差額となりました。依然として人材確保・人材育成は大きな課題となっていることから、安定した経営を目指し協議、検討を重ねていく必要があります。

令和5年度は法人内で福祉サービス事業係が中心となり、各事業所で実施が義務化される「感染症対策の強化に係る取組み」「事業継続計画(BCP)の作成」「障がい者虐待防止に係る取組み」についての体制整備を行いました。今後は役職員が共通の理解のもと運用を行うとともに、関係機関と連携しながら安定した事業運営に努めます。

## 9 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市内に事業所を持つ社会福祉法人（14 法人）が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局業務等の支援を行いました。全体会などで各法人共通の課題である人材確保・人材育成について意見交換を行うなど他の法人の状況や今後の取り組みについて、悩みや課題を共有・検討できる良い機会となっています。今後も市内の法人が相互協力し合いながら地域における公益的な取組みを推進していきます。

# 1 法人運営事業【総務係】

## 1 会務の運営

### ①理事会（5回）

#### 第1回 令和5年4月28日（金）【書面決議】

##### 議 題

議案第1号 令和5年度共同募金配分金の助成について

#### 第2回 令和5年6月6日（火）【出席者】理事10名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 評議員選任・解任委員の選任について

議案第3号 令和4年度 事業報告及び決算について

議案第4号 第1回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

#### 第3回 令和5年6月22日（木）【出席者】理事10名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選任について

#### 第4回 令和5年12月4日（月）【出席者】理事9名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

#### 第5回 令和6年2月26日（月）【出席者】理事9名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 第三者委員の選任について

議案第2号 経理規程の一部改正について

議案第3号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第4号 正規職員育児・介護休業規程の一部改正について

議案第5号 令和5年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第6号 令和6年度 事業計画及び資金収支予算について

議案第7号 令和6年度 役員等賠償責任保険契約について

議案第8号 第3回評議員会の招集について



②評議員会（3回）

第1回 令和5年6月22日（木）【出席者】評議員14名

議 題

議案第1号 理事及び監事の選任について

議案第2号 令和4年度 事業報告及び決算について

第2回 令和5年12月18日（月）【出席者】評議員15名

議 題

報告事項 令和5年度 中間事業報告（令和5年4月～9月）について

第3回 令和6年3月11日（月）【出席者】評議員14名

議 題

議案第1号 監事の辞任に伴う後任の選任について

議案第2号 令和5年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第3号 令和6年度 事業計画及び資金収支予算について

③評議員選任・解任委員会（2回）

第1回 令和5年6月9日（金）【出席者】選任・解任委員5名

議 題 評議員の選任について

第2回 令和5年12月8日（金）【出席者】選任・解任委員4名

議 題 評議員の選任について

④監事監査（2回）

第1回 令和5年5月26日（金）【出席者】監事2名

議 題 令和4年度 事業報告及び収支決算の監査について

第2回 令和5年10月30日（月）【出席者】監事2名

議 題 令和5年度中間監査について（令和5年4月～9月）

⑤三役会（会長・副会長・常務理事）（7回）

第1回 令和5年4月27日（木）

議 題 （1）理事会（書面決議）提出議案について

（2）令和5年度福祉ボランティア基金助成について

（3）各係の目標について

第2回 令和5年5月24日（水）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第3回 令和5年8月24日（木）

議 題 （1）福祉サービス事業系の運営状況について

（2）令和6年度 正規職員採用について

**第4回 令和5年9月28日(木)**

- 議 題 (1) 亀山市参加支援(就労体験等)事業について  
(2) 令和6年度 正規職員採用について

**第5回 令和5年10月27日(金)**

- 議 題 (1) 令和5年度 中間事業報告(令和5年4月~9月)について

**第6回 令和5年11月24日(金)**

- 議 題 (1) 理事会及び評議員会提出議案について

**第7回 令和6年2月14日(水)**

- 議 題 (1) 理事会及び評議員会提出議案について

**⑥行政監査**

**所轄庁による監査**

令和5年度社会福祉法人指導監査 令和6年2月19日(月)

**⑦第三者委員報告会**

利用者等からの苦情に対して社会性や客観性を確保するとともに、利用者等の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置し報告会を行いました。

実施日 令和6年3月28日(木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 令和5年度 苦情受付件数及び対応件数 3件

(うち話し合いへの第三者委員の助言、立ち合い 0件)

**⑧各種団体等への事業説明・意見交換会**

**(1) 亀山市議会教育民生委員会との意見交換会**

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 令和5年8月1日(火)

場 所 市役所 第1・2・3委員会室

内 容 社会福祉協議会との意見交換会

出席者 会長他職員5名

## 2 基盤の強化

### ① 会員制度の啓発及び推進

(単位：名、円)

実施期間	普通会員	特別会員	5年度	4年度	増減額
7月	10,447	4	3,410,160	3,354,540	55,620

### ② 中期経営計画の推進

法人の使命・経営理念の実現に向け、地域福祉を推進する組織として、本会が将来にわたって安定的に事業を継続するための中期経営計画の推進について、単年度ごとの進捗状況を理事会において評価し、評価シートをホームページに公開しました。

[計画期間 令和4年度～令和8年度(5年間)]

### ③ 人材育成計画・研修計画の推進

人材育成計画に基づき、各係の目標を設定し、職員面談等を行いながら、各職員が係の目標に到達できるよう取り組むべき行動目標を示すとともに、職員別育成計画書に基づき、職員の人材育成に取り組みました。また毎年策定する研修計画に基づき、職員に対し階層別研修及び専門研修を計画的に実施しました。

### ④ 相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングの実施

福祉課題が多様化・複合化する中、法人内でも各分野における相談支援事業間の連携や情報共有をスムーズに行えるよう、月1回、係を超えて相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングを実施しました。

実施回数 12回

### ⑤ 職員研修の実施

リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化に向け、職員研修を実施しました。

実施日 令和5年10月6日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 コンプライアンス研修～リスク管理と個人情報保護～

講 師 楠井法律事務所 弁護士・社会福祉士 飯田 真也 氏

出席者 本会職員 17名

### 3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

#### ①第19回亀山市社会福祉大会

市と共催で、亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 令和5年11月10日(金)

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 地域の社会資源を活用した社会とのつながりづくり  
～働くことを通じた「しあわせ」を求めて～

講師 NPO 法人えん

代表理事 小林 弘樹 氏

参加者 約180名

### 4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	5年度	4年度	増減
登録者数	38	41	△3
延べ運行回数	1,768	2,202	△434

<5年度内訳>

(単位：円、回)

月	運行費 (年会費含む)	内 容			運行 回数
		リハビリ・診察	透析	その他	
4	81,600	73	94	1	168
5	51,600	73	71	4	148
6	54,800	76	73	5	154
7	51,400	72	89	4	165
8	48,400	71	83	3	157
9	49,400	64	84	5	153
10	50,000	69	92	5	166
11	49,800	64	94	8	166
12	52,600	66	98	6	170
1	32,600	43	64	5	112
2	27,600	47	52	5	104
3	27,000	42	62	1	105
計	576,800	760	956	52	1,768

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

## 5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
車椅子	225	193	32
歩行器	0	1	△1

## 6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：円)

	5年度	4年度	増減
収入金額	4,386	2,090	2,296

## 7 日本赤十字社との連絡及び協力

### ①日本赤十字社社資募集

(単位：円)

実施期間	5年度	4年度	増減額
5月	4,649,480	4,672,450	△22,970

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

## 8 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

市内に事業所がある社会福祉法人が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局支援を行いました。

### ①連絡会の運営

#### ◆総会（1回）

第1回 令和5年4月17日（月）【オンライン開催】

協議事項（1）令和4年度 事業報告及び収支決算について

（2）令和5年度 事業計画及び収支予算について

参加団体 11法人、亀山市（オブザーバー）

#### ◆役員会（2回）

第1回 令和5年11月13日（月）

協議事項（1）令和5年度の全体会について

参加団体 5法人

第2回 令和6年3月29日（金）【オンライン開催】

- 協議事項 (1) 令和5年度 決算見込みについて  
(2) 令和6年度 事業計画(案)及び予算(案)について  
参加団体 4 法人

◆全体会 (1 回)

- 第1回 令和5年12月1日(金)  
協議事項 (1) 福祉職員の処遇について  
(2) 人材確保、育成について  
参加団体 10 法人、亀山市(オブザーバー)

## 9 福祉団体の事務及び助成

### ① 団体事務局

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- (2) 亀山市老人クラブ連合会
- (3) 亀山保護司会
- (4) 亀山更生保護女性会
- (5) 亀山市遺族会

### ② 団体助成

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 (共同募金配分金) 80,000 円
- (2) 亀山市自治会連合会 (共同募金配分金) 330,000 円

## 10 能登半島地震における被災地支援

令和6年1月1日に発生した、令和6年能登半島地震について、被災された方々を支援するため社協ブロック派遣による支援、募金箱の設置、義援金の受付を行いました。

### ① 社協ブロック派遣

- 派遣先 社会福祉法人輪島市社会福祉協議会  
輪島市災害ボランティアセンター  
派遣日 令和6年3月6日(水)～12日(火) [7日間]  
派遣職員 浦川 大貴(生活支援係)

### ② 募金箱の設置、災害義援金の受付

- 募金箱設置場所 総合保健福祉センター、市役所本庁舎、関支所、図書館 [計4か所]  
義援金受付額 2,395,758 円 [27件]

## 2 地域福祉事業【地域福祉係】

### 1 第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心した暮らしが続けられるよう、住民と福祉関係の事業者・団体、行政が力を合わせて地域の福祉課題の解決に向け取り組み、地域共生社会の実現を図るため亀山市と一体的に策定した第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進に努めました。

#### ① 亀山市地域福祉推進委員会の開催

第1回 令和5年6月30日（金）【出席者】委員13名

議 題

- ・地域福祉推進委員の委嘱及び委員長・副委員長の選任について
- ・第2次地域福祉計画（後期）の令和4年度実績について
- ・地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の令和4年度実績について

### 2 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業

#### コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 <市受託事業>

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、引きこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。

#### ① 相談実績

##### ◆相談件数

（単位：件）

	個別支援					地域支援	5年度	4年度	増減
	高齢	障がい	母子 (子育て)	その他 (困窮)	複合的な課題 を抱えた世帯				
新規相談	7	11	1	18	24	4	65	50	15
延べ相談	25	300	17	230	756	72	1,400	1,412	△12

##### ◆相談経緯（新規）

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域 住民	家族	福祉 機関	医療 機関	行政 機関	教育 機関	その他	5年度
相談件数	10	6	4	8	8	2	11	15	6	70

※重複あり

#### ② プラン作成件数

（単位：件）

	計	新規	継続	終結
トータルケアプラン [多機関協働事業]	15	6	9	4
参加支援事業	4	3	1	0
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	1	1	0	0

### ③ 亀山市参加支援（就労体験等）事業

既存の福祉サービスなどでは対応できない対象者のニーズに対応するため、福祉サービス事業所や民間事業所などに就労体験等の場を提供いただき、地域の社会資源等を活用し、社会とのつながりづくりとして、令和5年10月より事業を実施しました。

支援対象者 3名

体験回数 延べ140日

協力事業所 4事業所（登録5事業所）

### ④ 包括的支援体制の推進

・ 支援会議・相談支援包括化サポート会議 12回（月1回開催）

・ 相談支援包括化サポート担当者会議 30回

・ 多機関協働による包括的支援体制づくり（全庁展開）に向けた説明会

建設部、産業環境部、上下水道部、教育委員会、地域医療部（計8課）

小中校長会、三重県教職員組合亀山支部青年部、関中学校スクールカウンセラー、三重県社会福祉士会鈴亀支部、亀山市滞納処分等判定委員会私債権部会、亀山市滞納処分等判定委員会公債権部会

### ⑤ 地域への周知・関わり・会議への参加

地域での話し合いの場に参加 25回

福祉委員会への参加 22回

地域ケア会議（地域に係る専門職のネットワーク会議） 10回

### ⑥ 先進地視察等

第2次亀山市地域福祉計画（後期）に位置付けている取組み、施策の実現に向け、先進的に取り組んでいる自治体への視察を市とともに実施しました。また、関係機関からの依頼を受け、亀山市の重層的支援体制整備事業の取組みについて実践発表を行いました。

#### 【先進地視察】

実施日 令和5年9月6日（水）

場 所 三重県伊勢市

内 容 伊勢市における重層的支援体制整備事業の実践

実施日 令和5年11月21日（火）

場 所 滋賀県高島市、長浜市

内 容 高島市、長浜市における参加支援事業の実践

#### 【実践発表】

実施日 令和5年9月8日（金）

場 所 日本社会事業大学大学院特別講義 [オンライン]

内 容 コミュニティソーシャルワークの活動から包括的支援体制の構築へ

発表者 本会職員3名



実施日 令和5年12月11日(月)  
 場 所 石川県庁行政庁舎  
 内 容 包括的支援体制推進研修会(石川県)  
 発表者 亀山市職員1名 本会職員1名

### 3 小地域ネットワーク活動事業

#### ①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全22地区340名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計340名(4年度 338名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位:名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業(主な事業)
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者訪問、紙ヒコーキを飛ばそう
2	井田川南	25	ふれあいグランドゴルフ大会、高齢者訪問
3	井田川北	43	高齢者への花プレゼント(訪問活動年2回)
4	川崎	28	高齢者訪問、みんな元気で楽しい集い
5	野登	16	一人暮らし高齢者訪問配食、天空の森ウォーキング
6	白川	10	小学生との一人暮らし・二人暮らし訪問活動、そば作り交流
7	神辺	16	高齢者訪問、ふれあいキッズカフェ、ふれあい健康体操、三世代ふれあい交流
8	野村	26	高齢者訪問、いきいきサロン、びよびよサロン、長寿を祝う会、夏休み子ども教室
9	城東	6	しろやまさろん、高齢者訪問
10	城西	10	高齢者訪問、お楽しみ会
11	城北	8	一人暮らし高齢者訪問、ふれあい交流会
12	御幸	8	高齢者訪問、感謝のつどい、文化祭
13	本町	7	いきいきサロン「地域の茶の間」、春のつどい
14	北東	6	一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば、なかよしサロン
15	東部	30	高齢者訪問、老人球技大会、文化演芸大会、秋祭り
16	天神・和賀	11	一人暮らし高齢者訪問活動、ミニサロン
17	南部	9	高齢者訪問、研修会(福祉委員向け)
18	関宿	35	高齢者見守り訪問活動、ゴキブリ団子作り、孫と遊ぼう会
19	関北部	7	高齢者訪問、もちつき大会
20	関南部	14	高齢者訪問、民生委員との情報交換会、ピラティス講座
21	加太	7	高齢者訪問
22	坂下	11	訪問配食活動、敬老会、ふれあい交流会、節分祭
	計	340	

## ②福祉委員研修会

### (1) 福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、個人ワークを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を2回に分けて開催しました。

実施日 令和5年7月5日(水)【午前】10:00~11:30 【午後】19:00~20:30

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義及び個人ワーク

テーマ 『福祉委員の役割を地域の身近な「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 65名

### (2) 福祉委員研修会(障がい理解について)

障がいの概念や生活のしづらさ、関わり方を学び、全ての方が住み慣れた地域でお互いに支え合い生活し続けられるよう共生社会の実現に向け研修会を開催しました。

実施日 令和5年10月25日(水)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及びグループワーク

テーマ 『障がいがある』ってどんなこと?

講 師 市健康福祉部地域福祉課障がい者支援グループ 村主 健太郎 氏

障害者総合相談支援センターあい 園田 奈美恵 氏

参加者 42名

### (3) 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

実施日 令和6年2月16日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及びグループワーク

講 師 地域包括ケア推進係

参加者 30名

## ③安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

地区福祉委員会を中心に地域内の75歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に見守り訪問活動を行い、不織布マスクを配布しました。

実施地区 22地区

実施期間 令和6年1月~3月

(単位:件)

	5年度	4年度	増減
配布数	1,039	1,001	38

#### 4 ボランティアセンター事業

##### ①ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50 音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	5 年 度	4 年 度	増 減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	13	15	△2
2	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	9	9	0
3	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	39	41	△2
4	オカリナアンサンブル・ラルゴ	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問	4	4	0
5	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	12	12	0
6	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	11	11	0
7	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	12	9	3
8	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	14	13	1
9	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	7	14	△7
10	亀山社中	地域福祉イベントの企画・運営	3	3	0
11	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	5	10	△5
12	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	12	13	△1
13	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	10	12	△2
14	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	15	15	0
15	亀山ボードゲーム会ひとつ	ボードゲームを通じた地域交流、イベントの実施	3	3	0
16	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	4	4	0
17	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	18	20	△2
18	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	3	0
19	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	20	20	0
20	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	9	9	0
21	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	111	101	10
22	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	14	14	0
23	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	56	50	6
24	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	6	6	0
25	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	13	13	0
26	(特非) 亀っ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	27	31	△4
27	文化等 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	28	28	0
28	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	36	35	1
29	みつくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
30	民謡 万咲く会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	19	0
31	リンパ浮腫ケアと運動療法を 楽しむ会	リンパについての講演会等の実施	5	5	0
32	エアプランツ	乳がんについての広報活動、乳房パット作り	4	4	0

33	個人ボランティア	災害支援等	4	4	0
	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等		5	△5
	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般		11	△11
	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等		22	△22
合計			550	592	△42

## ②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事用保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	42	46	6	1
人数	2,061	3,948	1,544	50

## ③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートをを行いました。

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
相談件数	69	33	36

## ④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施しました。

実施日 令和6年3月6日(水)

場所 総合保健福祉センター

内容 令和6年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 13団体15名

## ⑤ボランティア講座

ボランティア活動に関心を持ち、また潜在的なボランティア活動者がボランティア活動を始めるきっかけ作りになるようボランティア養成講座を実施しました。

実施日 令和5年12月26日(火)、27日(水)

場所 総合保健福祉センター

内容 初めての方のボランティア入門講座

～活動を知ってみよう～ ～活動を体験してみよう～

講師 明石 澄子 氏

亀山ボードゲーム会ひと 服部 智貴 氏

介護アロマ三重サークル亀山  
かみきりむしの会  
かめやま防災ネットワーク  
亀山朗読奉仕会

受講者 31名

## ⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図る目的に実施しました。

実施日 令和6年3月6日(水)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ボランティア活動発表及び意見交換会

参加者 4団体6名

## ⑦災害ボランティアセンター

### (1) 災害ボランティアセンター設置訓練

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。

実施日 令和6年2月3日(土)

場 所 社会福祉センター

内 容 事前研修、設置・運営訓練

講 師 一般社団法人ピースボード災害ボランティアセンター 遠藤 聡 氏

参加者 50名

(社協職員18名、市職員等11名、災害ボランティア3名・ライオンズクラブ2名、青年会議所1名、地域包括支援センター6名、障害者総合相談支援センターあい2名、他市町社協職員7名)

### (2) 三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会

平時より三泗鈴亀ブロック内の市町社協の災害復興に係る取り組みを充実し、有事の際においても広域的な応援体制を円滑に行えるよう三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会が設置され、広域連携訓練を実施しました。また他市町社協が実施する災害ボランティアセンター設置運営訓練等に参加しました。

実施日 令和6年2月22日(木)

場 所 オンライン開催

参加者 13名(うち本会職員2名)

### ○朝日町社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練研修会への参加

実施日 令和6年2月18日(日)

場 所 朝日町保健福祉センターさわやか村

参加者 本会職員2名

○鈴鹿市社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練研修会への参加

実施日 令和6年3月9日(土)

場 所 鈴鹿市労働福祉会館、鈴鹿市社会福祉センター

参加者 本会職員2名

#### ⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風などに伴う警報発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

#### ⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。(単位：団体、円)

	5年度	4年度	増減
団体数	6	6	0
助成金額	382,000	405,000	△23,000

#### ⑩あいあい祭り 2023 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>

会場となる総合保健福祉センターが、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場であることから中止となりました。

## 5 福祉教育推進事業

#### ①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、各学校の総合学習での福祉授業をはじめ、ボランティア紹介などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育ていけるよう助成事業を行いました。

・助成事業：計1,900,000円(@50,000×14校、18園 モデル校@100,000×2校、1園)

・令和5年度モデル指定校、園：川崎愛児園、昼生小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	12	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太、第三愛護、川崎愛児(モデル園)、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	2	アスレ、亀山愛児
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎、神辺、昼生(モデル校)、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山(モデル校)、徳風

## (1) モデル指定校（園）との関わり

モデル校（園）を指定し、学校（園）と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校（園）名	内 容
川崎愛児園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生のインターンシップの受入れ、交流</li> <li>・夕涼み会や運動会での地域の方との交流</li> </ul>
昼生小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の役割について（6年生） 地域の民生委員・児童委員から普段の活動や役割について</li> <li>・認知症キッズサポーター養成講座（6年生）</li> <li>・視覚障がい者（UDアドバイザー）の暮らしについて（出会い学習）（4年生）</li> <li>・車いす介助体験等を通じた防災マップの作成（4年生）</li> </ul>
亀山高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護や保育への興味関心を高めてもらうため、市内及び近隣中学校に総合生活科の活動をまとめた新聞の配布</li> <li>・ふれあい・いきいきサロンとの訪問交流</li> <li>・75歳以上ひとり暮らし高齢者に手作りのティッシュカバーのプレゼント</li> <li>・高齢者施設に手作り作品（小物入れ、カレンダー）のプレゼント</li> <li>・ジャンボ絵本を制作し、市内の保育園を訪問し子ども達の前で読み聞かせ</li> <li>・課題研究（ふれあい・いきいきサロンについて）</li> </ul>

## (2) 学校からの福祉教育依頼

学校からの福祉教育依頼を受け、学校と社協が共にプログラムを作成し、職員が講師として授業を行いました。

実施日	学校名	内 容
6月29日（木）	亀山西小学校（6年生）	「生活しづらい人」ってどんな人？ （地域の中で困り事について）
1月19日（金）	亀山西小学校（6年生）	車いす体験、 高齢者・障がい者疑似体験
11月8日（水）	井田川小学校（3年生）	車いす、アイマスク体験 視覚障がい者（UDアドバイザー）の暮らしについて（出会い学習）
1月23日（火）	川崎小学校（4年生）	視覚障がい者（UDアドバイザー）の暮らしについて（出会い学習）
11月16日（木）	神辺小学校（4年生）	車いす体験、 高齢者・障がい者疑似体験
12月11日（月）	徳風高等学校（2年生）	人権学習～障がい者の人権について～

## ②夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの8月21日(月)から25日(金)[5日間]、市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者、園児の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催しました。

(単位：名 ※延べ人数)

亀中体験施設名	参加者	中部中体験施設	参加者	関中体験施設	参加者
安全の里	13	宝寿の里	1	GHはなの家	5
亀寿苑	7	亀寿苑川崎ディアップセンター	5	デイサービスはなの家	4
亀山老健デイサービス	6	プレミアム DayRinRin	1	亀寿苑関ディアップセンター	5
つくしの家	8	川崎愛児園	13	華旺寿	2
さと和デイサービス	4	野登ルビニ園	4	えん	4
第三愛護園	3	なのはな保育園	20		
亀山愛児園	10				
計	51	計	44	計	20
				合計	115

## ③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生が街頭募金活動を実施しました。

実施日	学校名	場 所
11月22日(水)	亀山高等学校(10名)	亀山ショッピングセンターエコー マックスバリューストア亀山店
11月24日(金)	関中学校(11名)	フーズアイランド関店
12月4日(月)	亀山中学校(8名)	亀山ショッピングセンターエコー
12月5日(火)	徳風高等学校(7名)	スーパーセンターオークワサウス亀山店
12月6日(水)	中部中学校(19名)	マックスバリューストア亀山店 ベイシック亀山店
12月11日(月)	亀山高等学校(10名)	オークワ亀山店 マックスバリューストア亀山店
1月27日(土)	亀山高等学校(9名)	亀山大市



## 6 サロン活動推進事業

### ①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		5年度	4年度	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	79	83	△4	2,841,000	24,473
	新規	6	1	5	216,000	
	計	85	84	1	3,057,000	
子育て	既存	4	4	0	144,000	2,004
	新規	0	1	△1	0	
	計	4	5	△1	144,000	
コミュニティ	既存	12	14	△2	396,000	4,054
	新規	3	0	3	108,000	
	計	15	14	1	504,000	
合計		104	103	1	3,705,000	30,531

### ②子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について意見交換を行うとともに、相互の交流を深めることを目的に開催しました。

実施日 令和6年3月18日(月)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 活動体験、交流会、令和6年度サロン活動推進助成事業説明

講 師 windsoil「あおぞらen」 谷 慶子 氏

参加者 7名(3団体5名、主任児童委員2名)

### ③コミュニティサロン交流会

市内の「コミュニティサロン」を実施している団体間において、交流を深めることによりサロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和6年3月14日(木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 活動体験、交流会、令和6年度サロン活動推進助成事業説明

講 師 らくらく会 宮崎 道子 氏

参加者 6団体11名

## 7 広報啓発事業

### ①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第74号 令和5年 7月1日「重層的支援体制整備事業の取り組み」等

第75号 令和5年 10月1日「特集：夏休み中学生福祉体験教室」等

第76号 令和6年 1月1日「特集：地域包括支援センターの紹介」等

第77号 令和6年 4月1日「能登半島復興支援活動」等

### ②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	5年度	4年度	増減
お知らせ・新着情報	37	32	5
フェイスブック	162	118	44

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

### ③FM ラジオの情報発信

毎月1回鈴鹿 VoiceFM（78.3Mhz）にて「ラジオかめやま社協だよりに」に職員が出演し、本会の活動紹介をはじめ、福祉事業についての説明や相談窓口の案内などを行いました。

放送日 毎月第2火曜日 14：20頃から

出演回数 12回（令和5年4月～令和6年3月）

## 8 各種福祉事業

### ①高齢者支援

#### （1）団体助成

◆亀山市老人クラブ連合会 （共同募金配分金） 100,000円

#### （2）歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 1件 3,000円

### ②障がい児（者）支援

#### （1）団体助成

◆亀山市特別支援教育振興会 （共同募金配分金） 130,000円

◆亀山親亡き後を考える会つむぐ （共同募金配分金） 300,000円

#### （2）歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆特別児童扶養手当受給者 105件 315,000円

◆障害児福祉手当受給者 39件 117,000円

◆特別障害者手当受給者	38 件	114,000 円
◆福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	183 件	549,000 円

### ③子ども・子育て支援

#### (1) 団体助成

◆亀山市子ども会育成者連絡協議会	(共同募金配分金)	60,000 円
◆特定非営利活動法人亀っ子サポート	(共同募金配分金)	100,000 円
◆不登校の親の会「でんでん」	(共同募金配分金)	202,660 円

#### (2) 生活保護世帯入学祝金、修学旅行費補助<歳末たすけあい配分金事業>

◆生活保護世帯入学祝金補助	1 名	5,000 円
◆生活保護家庭小中学校修学旅行補助	4 名	20,000 円

#### (3) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆準援護家庭	316 件	948,000 円
◆施設入所児童	1 件	3,000 円

### ④低所得者支援

#### (1) 団体助成

◆亀山みんなの食堂	(共同募金配分金)	400,000 円
-----------	-----------	-----------

#### (2) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

◆生活保護世帯	161 件	504,000 円
---------	-------	-----------

## 9 共同募金会との連絡及び協力

### ①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	5年度	達成率	4年度	増減額	前年比
10月～12月	5,346,864	4,577,546	85.6	4,871,866	△294,320	94.0

### ②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	5年度	達成率	4年度	増減額	前年比
10月～12月	2,400,000	2,299,564	95.8	2,243,377	56,187	102.5

### ③亀山市共同募金委員会運営委員会及び審査委員会の開催

第1回 令和5年6月12日(月)

[運営委員会] 【出席者】運営委員7名

- ・運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- ・監事の辞任に伴う後任の選任について
- ・令和4年度 事業報告及び収支決算について

[審査委員会] 【出席者】運営委員7名

- ・令和5年度(令和6年度充当)一般募金配分申請について
- ・令和5年度歳末たすけあい募金配分申請について

第2回 令和6年3月25日(月) 【出席者】運営委員7名

- ・令和6年度 事業計画及び収支予算について
- ・任期満了に伴う運営委員及び審査委員並びに監事の選任について

### 3 生活支援事業【生活支援係】

#### 1 総合相談事業 <市補助事業>

##### ①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援会議を通じて適切な相談援助を行いました。

##### ②心配ごと相談（元公証人による相談）

市の法律相談と連携しながら、相続、遺言、金銭貸借、離婚等に関することに対して元公証人による適切な助言、指導を行う相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員・児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	5年度	4年度	増減
開設日数	22	23	△1
相談件数	88	85	3

##### ③成年後見等の法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	5年度	4年度	増減
開催日数	12	12	0
相談件数	38	30	8

##### ④心配ごと相談員研修会

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得を目的に実施しました。

実施日 令和6年2月16日（金）

場 所 社会福祉センター

講 演 「相続登記の申請義務化」について

講 師 津地方法務局 総務登記官 市川 正義 氏

参加者 相談員 6名

### ⑤心配ごと相談所打合せ会議

相談員同士の意見交換や実績報告等を行うため、打合せ会議を開催しました。

	第1回	第2回
実施日	令和5年6月16日(金)	令和5年12月20日(水)
場 所	総合保健福祉センター	社会福祉センター
内 容	事業報告、意見交換等	事業報告、意見交換等
参加者	8名	8名

## 2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

### ◆支援回数

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
認知症高齢者	111	123	△12
知的障がい者	396	398	△2
精神障がい者	584	464	120
その他	89	63	26
計	1,180	1,048	132

### ◆契約者数

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
認知症高齢者	5	7	△2
知的障がい者	17	19	△2
精神障がい者	19	17	2
その他	2	3	△1
計	43	46	△3

### ◆生活支援員関係

(単位：名、回)

	5年度	4年度	増減
生活支援員	14	13	1
派遣回数	929	844	85

## ◆生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和5年7月6日(木)

場 所 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 成年後見制度利用促進シンポジウムに参加

参加者 13名

### ◇日常生活自立支援事業について

今年度は利用者の死亡と他市への転居で解約が4件ありましたが、新規契約者が1名あり、3月末の利用者数は43名となりました。相談者の状況をよく聞き取り成年後見制度の利用も視野に入れ、権利擁護支援に結びつくよう助言しています。今年度も新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行もあり、病院に入院中や施設に通所をしている利用者にはなかなか面会できず、昨年度に引き続き施設職員等を通じての支援となりました。

## 3 成年後見サポート事業 <市委託事業>

成年後見制度の利用促進に関する法律と、亀山市地域福祉計画(後期)に基づき中核機関の機能を有する、成年後見サポート事業を実施しました。相談支援員を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談業務、利用促進のための申立支援等を行うとともに、法人後見も受任しました。

### ①相談実績

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
新規相談件数	35	25	10
延べ相談件数	143	125	18

### ②「成年後見制度利用促進シンポジウム」の開催

成年後見制度の概要や取組状況を周知するため、関係機関や市民を対象にしたシンポジウムを開催しました。落語家の方に分かりやすく制度について講演してもらった後、トークセッションを行いました。

実施日 令和5年7月6日(木)

場 所 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 第1部「落語で知ろう！成年後見制度」  
第2部「成年後見制度の3つの場面について考える」

登壇者 落語家 桂 ひな太郎 氏

佛教大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 長友 薫輝 氏

亀山市法福連携ネットワーク協議会 会長 西村 和晃 氏(三重弁護士会)

亀山市民生委員児童委員協議会連合会 会長 小林 智子 氏

亀山第2地域包括支援センターもくれん 山下 千晶 氏

障害者総合相談支援センターあい 園田 奈美恵 氏

参加者 約 230 名

### ③関係機関及び金融機関への周知・説明

相談窓口の開設や制度の周知を行うため、関係機関の会議等に出向きチラシの配布や事業説明を行いました。また市内全ての金融機関を訪問し、各支店での対応状況や連携のあり方について意見交換することにより、成年後見制度における金融分野との連携方策の検討を進めました。

関係機関・実施日 西部地区民生委員児童委員協議会 令和5年5月9日(火)

中部地区民生委員児童委員協議会 令和5年5月16日(火)

関地区民生委員児童委員協議会 令和5年6月15日(木)

金融機関訪問先 百五銀行(亀山支店、関支店、東御幸出張所)

三十三銀行(亀山支店、みずほ台支店)

東海労働金庫(亀山支店)

北伊勢上野信用金庫(亀山支店)

鈴鹿農業協同組合(亀山支店、川崎支店、井田川支店、亀山神辺支店、  
関支店、野登支店)

亀山郵便局、昼生郵便局

訪問日 令和6年1月10日(水)～2月19日(月)

### ④法福連携ネットワーク協議会の開催

司法と福祉分野との連携方法の検討や情報交換などを行うため、法福連携ネットワーク協議会を開催しました。弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会、医師会等さまざまな分野から選出された委員に、事業の概要等についての説明を行いました。

実施日 令和5年7月13日(木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 事業報告、成年後見サポート(受任調整)会議の運営状況など

出席者 委員9名、家庭裁判所1名(オブザーバー)

### ⑤成年後見サポート(受任調整)会議の開催

制度利用の申立支援を行う案件等について、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会との情報共有や、申立人及び受任候補機関の調整などを行いました。

	第1回	第2回	第3回
実施日	令和5年5月25日(木)	令和5年8月21日(月)	令和6年1月29日(月)
場 所	総合保健福祉センター	総合保健福祉センター	総合保健福祉センター
受任調整件数	3件	3件	1件
出席者	委員4名	委員4名	委員4名



## ⑥チーム会議の開催

申立支援に関わった案件等について、受任後に後見活動が円滑に行われるよう、関係機関との情報共有や役割分担を行いました。

	実施日	参加者
1	令和5年11月9日(木)	後見人等、ケアマネジャー
2	令和6年1月15日(月)	被後見人等、後見人等、施設職員
3	令和6年1月25日(木)	被後見人等、後見人等、ケアマネジャー
4	令和6年1月30日(火)	被後見人等、後見人等、施設職員、日常生活自立支援事業担当者、コミュニティソーシャルワーカー、身元保証会社
5	令和6年2月15日(木)	被後見人等、後見人等、施設職員
6	令和6年3月8日(金)	被後見人等、後見人等、医療ソーシャルワーカー

## ⑦法人後見の受任

認知症、知的障がい、精神障がい等により意思決定が困難な方の判断能力を補うために、本会が後見人等となり、被後見人等の財産管理、身上保護を行いました。

### ◆法人後見実績 (単位：件)

	5年度	4年度	増減
新規受任件数	0	1	△1
受任実件数	1	1	0
延べ支援回数	87	7	80

## 4 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業と住居確保給付金(必須事業)及び家計改善支援事業(任意事業)を実施しました。また、「福祉なんでも相談窓口」として生活困窮者に限らず複合的な福祉課題を抱えた方からの相談に応じました。専門員3名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

### ◆相談実績 (単位：件)

	5年度	4年度	増減
新規相談件数	124	170	△46
延べ相談件数	908	1,247	△339
プラン作成件数	17	18	△1
家計改善支援利用件数	10	14	△4
支援終結	6	7	△1
住居確保給付金	4	12	△8

◆年代別構成 (単位：件)

	5年度	4年度	増減
10～20代	20	27	△7
30～40代	45	58	△13
50～60代	32	46	△14
70代～	18	24	△6
不明	9	15	△6

◆区分（重複あり） (単位：名)

		5年度	4年度	増減
属性	高齢者	25	38	△13
	母子家庭	10	10	0
	障がい者	16	16	0
	外国籍	20	32	△12
	その他（一般）	70	99	△29
状態	減収・失業者等	79	106	△27
	ケガ・疾病等	11	15	△4
	ひきこもり	3	1	2
	その他	1	0	1
	不明	7	8	△1

◆支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い連携を図りました。

開催回数：年間12回

◇生活困窮者自立支援事業について

令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で減収・失職した方からの新規相談が多くありましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による相談は1件のみでした。4年度は延べ相談件数の半数以上が外国籍の方であり、派遣就労等不安定な雇用条件による生活相談が多くありましたが、今年度は外国籍の方からの相談は、延べ相談件数の約2割であることから、徐々にコロナ禍の生活から戻りつつあることが伺えます。

また、福祉なんでも相談も12件あり、現状は生活困窮ではないものの疾病で働けず将来が不安である、身寄りがなく老後の事が心配等さまざまな内容の相談に応じました。

## 5 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

### ①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 <県社協受託事業>

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減収した方を対象とした新型コロナ特例貸付については、住民税非課税世帯等への免除手続き、失業や病気等で返済が困難な世帯には据置期間が延長される償還猶予の手続き支援を行いました。

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
相談件数	60	71	△11
貸付件数	11	3	8
長期滞納者の面談	0	0	0

### ◆貸付残高件数(令和6年3月31日現在)

(単位：件)

	5年度	4年度	増減
総合支援資金	12	12	0
緊急小口資金	22	23	△1
臨時特例つなぎ資金	1	2	△1
福祉資金(その他)	20	16	4
新型コロナ特例緊急小口資金	281	303	△22
新型コロナ特例総合支援資金	208	225	△17
新型コロナ特例総合支援資金延長	51	63	△12
新型コロナ特例再貸付	104	106	△2
合計	699	750	△51

(償還免除：通常貸付5件、新型コロナ特例貸付51件)

### ②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限30,000円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		5年度	4年度	増減
貸付	件数	0	0	0
	金額	0	0	0
償還	件数	0	0	0
	金額	0	0	0

◆貸付残高件数（令和6年3月31日現在）（単位：件、円）

	5年度	4年度	増減
貸付件数	1	3	△2
貸付残高	12,000	57,000	△45,000

（不納欠損処分：2件 45,000円）

## 6 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

### ①生活困窮者支援緊急食糧提供事業・緊急時物品等支援事業（みえ福祉の「わ」創造事業）

NPO セカンドハーベスト名古屋を通じて3週間分の食糧を3回まで提供しています。可能な限り、食物アレルギーへの対応もしています。

また就職活動の準備のために必要なものや緊急性の高い必要な日用品を提供しています。

（単位：件）

	5年度	4年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業	89	114	△25
緊急時物品等支援事業	13	7	6

### ②亀山市社協緊急食糧等提供事業及び災害時等備蓄品の提供

生活にお困りの方に対し生活再建を行えるよう、食料品や日用品を提供するとともに、本会が備蓄している災害時等備蓄品（保存用缶入りソフトパン、ビスケット、飲料水）を緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった方に提供しました。

（単位：件）

	5年度	4年度	増減
亀山市社協緊急食糧等の提供	58	56	2
亀山市社協災害時等備蓄品の提供	4	3	1

### ③三重県食品提供システムポータルみえ〜るとの連携（県廃棄物・リサイクル課事業）

企業等の団体から無償で提供される食品について、提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上で行い、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

提供回数 3回

提供食品 アルファ米、乾パン、食塩、水

#### ④生活協同組合コープみえとの連携（生活困窮者対策支援に関する協定）

生活協同組合コープみえとの生活困窮者対策支援に関する協定により、コープみえが取り扱う食品や日用雑貨（キャンセル商品や在庫商品等）を無償で提供いただき、支援に活用しています。またコープみえが主催する交流会にブース出展し、社協が行う各事業のチラシの配布やパネル展示、市内のボランティアグループが行う食糧支援について周知を行いました。

提供回数 12回

提供物品 米、パン、カップ麺、レトルトカレー、調味料、飲料、洗剤、マスク等

[商品・くらしの活動交流会への参加]

開催日 令和5年10月5日(木)

会場 鈴鹿職業訓練センター

内容 チラシ・ポケットティッシュ・非常用トイレの配布、災害ボランティアセンター・赤い羽根共同募金・ボランティアグループ（亀山みんなの食堂）のパネル展示

#### ⑤公益社団法人日本非常食推進機構との連携（災害対策用備蓄物資の有効活用に関する覚書）

公益社団法人日本非常食推進機構と災害対策用備蓄物資の有効活用に関する覚書により、企業等から無償で寄付される災害対策用備蓄物資（保存食）を提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上で行い、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

提供回数 4回

提供保存食 アルファ米、パン、クッキー、ビスケット、離乳食等

## 7 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

会議等への参加	三重県居住支援連絡会全体会議	1回
	三重県居住支援連絡会作業部会	2回
	居住支援フォーラム	1回
	住宅相談会	1回
	住宅相談窓口担当者等講習会	1回
	中部ブロック居住支援勉強会	1回
	居住支援連絡会研修会	1回

## 4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

### 1 基幹型地域包括支援センター事業 <鈴鹿亀山地区広域連合委託事業>

高齢者の方々が安心して暮らしていくことができるよう総合的な相談支援を行いました。また、地域包括支援センターの後方支援(バックアップ)及び補完的機能の役割を担いました。

- ・ 亀山市基幹型地域包括支援センターきずな（亀山市社会福祉協議会）
- ・ 亀山第1地域包括支援センターぼたん（安全福祉会）
- ・ 亀山第2地域包括支援センターもくれん（安全福祉会）

#### ①総合相談支援

高齢者の生活や認知症などの疾患、介護保険制度、施設入所などに関する相談や悩みのほか、福祉や医療、生きがいなどの相談に応じました。

◆相談件数 (単位：件)

	5年度	4年度	増減
延べ対応件数	378	398	△20

#### ②地域包括支援センター運營業務の平準化と後方支援

##### (1) 地域包括支援センター専門職別ワーキング

圏域において対応にばらつきがないよう地域包括支援センターとの情報共有や話し合いの場の設定を行いました。

◆実施状況

	回数	議 題
センター長会議	12回	亀山市・広域連合・各センター間の情報共有
保健師ワーキング	12回	地域での介護予防教室、市と地域での活動についての情報共有
主任CMワーキング	12回	自立支援型地域ケア会議及び報告会、バイタルリンクを活用したケアマネジャーとの情報共有
社会福祉士ワーキング	12回	高齢者虐待防止研修会についての検討、鈴鹿亀山地区消費生活センターとの情報共有

##### (2) 困難事例等に対する地域包括支援センターの相談支援

地域包括支援センターの支援として、困難事例等に対し地域包括支援センターと協働し、同行訪問やケース検討を行いました。

◆相談対応件数 (単位：件)

	5年度	4年度	増減
延べ相談対応件数	25	21	4

### (3) 高齢者虐待についての周知・啓発及び対応

令和6年度よりすべての介護サービス事業所において、虐待の発生又はその再発を防止するための必要な措置を講じることが義務付けられることから、市内介護サービス事業所を対象とした研修会を開催しました。また、相談、通報を受けた案件について地域包括支援センターと連携し、現地状況確認、相談支援を行いました。あわせて市主催のコアメンバー会議等に参加し、今後の対応と虐待認定について協議を行いました。

#### ○令和5年度高齢者虐待防止研修会（オンライン開催）

実施日 令和6年2月9日（金）

講師 一般社団法人三重県社会福祉士会 社会福祉士 市川 光智 氏

内容 高齢者虐待防止についての講義及び事業所間の情報交換

参加者 58事業所 70名

※アーカイブ配信視聴者及び地域包括支援センター職員含む

#### ◆虐待対応人数（重複あり）

（単位：件）

	5年度	4年度	増減
身体的虐待	7	5	2
経済的虐待	0	2	△2
心理的虐待	1	1	0
性的虐待	0	0	0
介護放棄	2	4	△2
計（実人数）	10（6）※	12（12）	△2

※うち、実人数6人中4人は虐待の事実の判断「虐待の事実なし」又は「判断できず」

#### ◆虐待相談対応件数

（単位：件）

	5年度	4年度	増減
延べ対応件数	76	79	△3

### ③多職種によるネットワークの構築と地域課題の把握及び地域ケア会議開催支援

#### (1) 多職種によるネットワークの構築と地域課題の把握

サービス事業所や専門職同士のネットワーク強化、サービス事業所間で共通の課題の解決につなげられるように次の会議を開催しました。

開催目的	回数	参加者
地域に関わりを持つ専門職の役割の共有とネットワーク構築	10回	第1地域包括支援センター、第2地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、社協生活支援係、コミュニティソーシャルワーカー、市地域福祉課、市地域医療課
事業所間での情報共有、人材不足などの共通の課題の解決策の検討	7回	主に在宅への訪問を行っている訪問介護事業所、第1地域包括支援センター、第2地域包括支援センター、市地域福祉課
主任介護支援専門員の知識と経験を活かした地域のケアマネジャーのレベルの底上げ、実力を発揮できる場作りと実践	3回	地域包括支援センター及び主に市内の利用者を担当する居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員

#### (2) 地域ケア会議開催支援及び会議への出席

地域包括支援センターが地域ケア個別会議を開催できるよう、関係機関の調整及び専門的な視点で話し合えるように支援しました。

また、民生委員・児童委員の実態調査訪問の状況から地域の状況を聞き取り、地域ケア圏域会議につなげ地域の課題やその対応について協議しました。

#### ◆地域ケア個別会議 実施状況

テーマ	開催日	担当包括	参加者
認知機能低下がみられる独居高齢者について、在宅生活を継続するための地域での支援について	6月16日	第2包括	家族、自治会長、民生委員・児童委員、近隣住民、JA職員、ケアマネジャー、サービス提供事業者(訪問看護師、訪問介護員)
猫の多頭飼育と大量のゴミの中で生活している高齢兄弟について、関係者の情報共有と今後の生活について	7月14日 8月22日	第2包括	自治会長、民生委員・児童委員、鈴鹿保健所職員、近隣学校職員、ケアマネジャー、市環境課環境創造G職員、社協CSW
金銭管理が難しい高齢者夫婦について、在宅生活を継続するための地域での支援について	9月4日	第2包括	家族、民生委員・児童委員、認知症初期集中支援チーム員、ケアマネジャー



受診を拒む高齢者と統合失調症の家族について、関係者の情報共有と今後の生活について	9月19日	第1包括	民生委員・児童委員、相談支援専門員、サービス提供事業者（訪問看護員、訪問介護員）、市地域福祉課障がい者支援G・高齢者支援G職員
家族関係が悪化しているアルコール依存状態である高齢者の今後の支援について	10月5日	第2包括	民生委員・児童委員、警察、消防、市地域福祉課高齢者支援G職員
屋内外ともにゴミ屋敷状態で緊急時に入室不可、連絡もあまり取れない方の支援について	12月4日	第1包括	自治会長、自治会役員、駐在所署員、民生委員・児童委員

#### ◆地域ケア圏域会議 実施状況

テーマ	開催日	担当包括	参加者
関地区の独居や高齢者世帯などで安否確認ができなかった場合の工夫や今後あればよいと考える仕組みについて	12月21日	第2包括	関地区民生委員・児童委員
西部地区民生委員活動における困りごととその対応について	3月26日	第2包括	西部地区民生委員・児童委員

### (3) 地域の仕組みづくり及び実践

○能褒野町自治会における高齢者見守りネットワーク「のぼのあんしんネット」  
 亀山第1地域包括支援センター及び認知症地域支援推進員と協力し、能褒野町自治会の役員会・班長会及び11月12日（日）市内一斉清掃時に行われた実践訓練に参加しました。

※のぼのあんしんネット：令和4年度に構築した自治会に従来からある通信手段LINEを活用した高齢者行方不明者等の早期発見のためのしくみ

### ④介護予防の推進

介護保険の申請を行う状況や背景となる疾患の状況等の調査結果を分析し、その結果から地区活動につなげる取り組みとして、地域包括支援センターの保健師ワーキングが中心となり、市の保健師と連携して地域において介護予防教室を開催しました。

#### ◆ますます健康教室

まち協名	開催日	参加人数	対象等
川崎地区	4月26日	16人	地区住民対象、令和4年度からの継続（3回シリーズの3回目）
神辺地区	11月28日	18人	ふれあい・いきいきサロン代表者対象 2回シリーズ
	12月21日	15人	

⑤自立支援型地域ケア会議の開催 < 鈴鹿亀山地区広域連合委託事業 >

事業対象者や要支援者等の軽度者について、理学療法士・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・生活支援コーディネーター等の多職種の見点で自立支援に資するケアマネジメントの検討を行いました。

◆実施状況

開催日	テーマ	担当包括
4月19日	良質な睡眠をとるための支援	第1包括
	役割を継続したい方の機能維持のための支援	第2包括
5月17日	2020年脳ドックで脳萎縮の所見があり、認知症の心配がある方へのアプローチ	第1包括
	排便コントロールに悩む医療依存度の高い方への支援方法	第2包括
6月21日	閉じこもりのためフレイル状態になっている方の身体機能を維持した生活を送るための支援	第1包括
	自宅での役割を維持しつつ、地域との関わりを持ち続けていくための支援	第2包括
7月19日	訪問リハビリテーション終了後の支援の持ち方	第1包括
	自宅で取り組める身体機能を維持した生活を送るための支援	第2包括
8月16日	認知機能の低下があり、閉じこもりぎみの方へのアプローチと日中独居時の介護者の不安を軽減できる支援	第1包括
	介護サービス導入に抵抗がある方の介護者の負担を軽減し、在宅生活を継続するための支援	第2包括
9月20日	不安を訴えるが、不安を軽減するための提案は受け入れない方への支援	第1包括
	脳梗塞の再発を予防するための食事と環境整備の工夫	第2包括
10月18日	難聴があるため人との交流が減っており、座って過ごす時間が長い方の現状維持のための支援	第1包括
	通院リハビリ終了後も意欲的に運動するための支援	第2包括
11月15日	足のしびれがあり、長距離歩行に不安のある方が身体機能を維持した生活を送るための支援	第1包括
	糖尿病があるが、食事管理や定期的な運動ができていない方へのアプローチについて	第2包括
12月20日	自宅での生活を継続したいパーキンソン病の方への支援	第1包括
	先天性の障がいと向き合いながら、自立した生活を継続するための支援	第2包括
1月17日	脊柱管狭窄症で円背のある方が身体機能を維持した生活を送るための支援	第1包括
	意欲低下・物忘れに対するデイと自宅で行う予防的支援	第2包括
2月21日	腰痛やしびれがあり、歩行に不安がある方の動作支援や筋肉をつける食事について	第1包括
	複数の疾患を抱え、多剤併用されている方が身体機能を維持した生活を送るための支援	第2包括
3月21日	低カリウム血症のため入退院を繰り返している方が自宅で安定した生活を送るための支援	第1包括
	認知症のある方の思いを聞き出し、強みを引き出すアプローチについて	第2包括

## ⑥その他

### (1) シルバー人材センターと地域包括支援センターの情報交換会

実施日 令和5年9月11日(月)

出席者 10名

シルバー人材センター； 福祉委員5名、事務局職員1名

地域包括支援センター； 第1包括1名、第2包括1名、基幹型包括2名

内 容 地域の現状やニーズについての情報交換・意見交換

### (2) 鈴鹿医療科学大学看護学生実習受入

受入日 令和5年9月12日(月)、13日(火)

受入人数 4名

内 容 地域包括支援センターの役割や活動について

## 2 地域支援事業 <市委託事業>

### ①第1層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう本会に配置している第1層生活支援コーディネーターと社会福祉法人安全福祉会に配置された第2層生活支援コーディネーターとともに、生活支援・介護予防のしくみづくりを進めました。

・第1層生活支援コーディネーター[市全域](亀山市社会福祉協議会)

・第2層生活支援コーディネーター[2圏域](安全福祉会)

### (1) 地域の現状把握

市内にある各まちづくり協議会(22地区)を単位として人口・世帯・高齢化率のデータをはじめ、地域の福祉・医療・教育等の社会資源やインフォーマルな活動も含め「見える化」を図るため、昨年度に続き市まちづくり協働課と協働で令和5年度版地域福祉カルテの作成をしました。新たに、社会資源一覧とのりかめガイドの二次元バーコードを掲載し、情報の「見える化」を進め、より活用してもらえるように工夫しました。

また、高齢者の生活支援に活用できる社会資源を整理し、ニーズとのマッチングに活用できるよう「高齢者のための社会資源のしおり」を第2層生活支援コーディネーター・基幹型地域包括支援センターと連携し改訂作業を行いました。

関係機関に情報共有を行うため、「地域福祉カルテ」と「高齢者のための社会資源のしおり」を本会ホームページに掲載するとともに、下記のとおり配布しました。

#### 【配布先】

地域まちづくり協議会(福祉委員会)	22部
民生委員・児童委員、主任児童委員	99部
市内地域包括支援センター	2部
市内居宅介護支援事業所	19部
市内小規模多機能型居宅介護事業所	2部
市内介護予防支援事業所	2部
市健康福祉部地域福祉課	1部

亀山市医師会	1部
亀山市歯科医師会	1部
亀山市薬剤師会	1部

## (2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

地域の社会資源であるふれあい・いきいきサロンへ訪問し、活動の把握に努めました。また、ふれあい・いきいきサロンの情報を多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）において共有し、ケアマネジャーからの依頼を受け、サロンを利用したいというニーズと団体のコーディネートを行いました。

### ○ふれあい・いきいきサロン助成事業<介護予防普及啓発事業>

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		5年度 箇所数	4年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	79	83	△4	2,841,000	24,473
	新規	6	1	5	216,000	
	計	85	84	1	3,057,000	

### ○ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和6年3月22日(金)【午前の部】10時00分～11時45分

【午後の部】14時00分～15時45分

※人数を半分に分けて午前・午後の2部制で開催

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ①情報交換会

②亀山高校生徒が考案したレクリエーションの体験

③社協レクリエーション備品の紹介・体験、貸出方法の説明

④令和6年度事業説明等事務連絡

参加者 59名(午前の部：27名 午後の部：32名)

### (3) 住民同士の支え合い活動（ちょこボラ）の推進

#### ○地区まちづくり協議会への支援

高齢化が進む中、地域で住民同士がゴミ出しや庭の草取りなどちょっとした助け合い活動が行えるよう「ちょこボラ」を推進しました。地域まちづくり協議会（22 地区）のうち、現在 4 地区がちょこボラ活動に取り組んでおり、会議の場に参加するなど意見交換や情報共有に努めました。

#### ◆支援者会議等への参加

(単位：回)

活動先	回数	活動内容
昼生フレンドサービス (昼生地区まちづくり協議会)	2	支援者会議への出席
井田川北ささえ愛たい (井田川北まちづくり協議会)	1	令和 5 年度定期総会への出席
城北サポート隊 (城北地区まちづくり協議会)	2	市環境センターへの一般廃棄物の持ち込み方法についての調整
ええやん助け合いよろずや縁 (坂下地区まちづくり協議会)	1	四日市市神前地区地域社会づくり推進委員会視察研修で概要説明

また、新たに立ち上げを検討している地域まちづくり協議会にちょこボラの概要説明や他地区の実施内容についての資料の提供等の支援を行いました。

#### ◆立ち上げ等に関する支援

(単位：回)

活動先	回数	活動内容
川崎地区まちづくり協議会	9	まち協会長他役員 2 名へ概要説明、他地区実施内容資料の提供、まち協役員会で概要説明、ちょこボラ準備委員会設置に向けた会議への出席
野登地区まちづくり協議会	2	まち協会長へちょこボラ補助金説明 (市担当者に同行)
野村地区まちづくり協議会	1	まち協会長他役員 10 名へ概要説明
北東地区まちづくり協議会	3	まち協会長他役員 6 名へ概要説明、他地区実施内容資料の提供
本町地区まちづくり協議会	1	まち協福祉部長へちょこボラ補助金説明 (市担当者に同行)

#### ○ちょこボラ養成講座（地域まちづくり協議会交流会）

ちょこボラの推進のため、亀山市地域まちづくり協議会連絡会議と共催で交流会を行いました。

実施日 令和 6 年 1 月 20 日（土）

場 所 社会福祉センター

内 容 ちょこボラについてワークショップ形式の交流会

参加者 57 名

## ②認知症地域支援推進員の配置

認知症の人やその家族を支援する相談の場の提供や、認知症になっても本人の意思が尊重され、生きがいを持って住み慣れた地域で生活が続けられるよう、通いの場の開催や地域の支え合いを築くため啓発活動に取り組みました。また、認知症支援のボランティア活動を行うチームオレンジの活動を支援するチームオレンジコーディネーターとして活動を行いました。

### (1) 集いの場の開催

市地域福祉課と協働し、認知症の人やその家族、地域住民や専門職などが参加でき、日頃の悩みや関わり方について話す場となる認知症カフェを開催しました。

カフェの開催回数 12回（毎月、第3火曜日開催）

場 所 総合保健福祉センター

### (2) 市民への啓発活動

認知症の基礎知識だけでなく、認知症について考えてもらうきっかけ作りになるよう、市と共催で啓発を行いました。また、これらの活動を専門職に知ってもらうため、多職種連携研修会において活動の報告を行いました。

<認知症メッセージツリーの展示>

認知症啓発月間の9月に、市役所・関支所・あいあい・図書館に認知症啓発ツリーを設置し、各設置場所にあるメッセージカードに市民の皆さんがメッセージを記入しツリーに飾ってもらいました。

<旧亀山城多門櫓のライトアップ>

世界アルツハイマーデーに認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色に旧亀山城をライトアップを行いました。

<図書館ミニ講座>

月1回、認知症に関する内容について、誰でも参加できる講座を開催しました。

### ◆開催状況

(単位：回)

実施日	内 容
4月26日(水)	認知症サポーター養成講座
5月24日(水)	認知症サポーター養成講座
6月28日(水)	認知症サポーター養成講座
7月26日(水)	アンガーマネジメント
8月23日(水)	フレイル予防について
9月21日(木)	認知症講演会
10月25日(水)	知ってあんしん 認知症と薬の話
11月22日(水)	消費生活トラブルに巻き込まれないためには
12月27日(水)	寄り添ってみよう認知症の方の気持ちに
1月24日(水)	みんなで救おう「要配慮者」
2月28日(水)	人と人をつなぐ回想法
3月27日(水)	家族の気持ちや介護事例

<メッセージリレー動画の作成>

認知症サポート医や支援者、行政等が参加しパズルを使用したリレー動画のDVDを作成し、講演会や認知症サポーター養成講座にて放映しました。

<多職種連携研修会での専門職への周知>

医療関係者や福祉サービス関係者が集う多職種連携研修会において、認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チームの活動の様子についての説明を行いました。

<チームオレンジかめやまの活動支援>

認知症に関する知識の習得や地域における見守り体制の必要性を広めるため、チームオレンジコーディネーター研修に参加しました。

また、チームオレンジの令和6年度の活動に向けて、活動の手引きの作成など、目標を持って活動できるよう支援しました。

(3) 認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成しました。特にマックスバリュについては、令和5年6月に思いやりレジが設置されたことから従業員を対象にした講座の希望があり実施しました。

◆実施状況

(単位：名)

	実施日	対 象	参加者
1	5月29日(月)	マックスバリュ亀山店	10
2	5月30日(火)	マックスバリュ亀山店	10
3	5月31日(水)	マックスバリュ亀山店	7
4	7月24日(月)	マックスバリュ亀山店	12
5	5月29日(月)	マックスバリュ亀山みずほ台店	12
6	5月31日(水)	マックスバリュ亀山みずほ台店	7
7	6月2日(金)	マックスバリュ亀山みずほ台店	6
8	7月26日(水)	マックスバリュ亀山みずほ台店	10
9	7月20日(木)	関地区民生委員児童委員協議会	20
10	9月27日(水)	マックスバリュ亀山みずほ台店	4
11	10月12日(木)	一 般	4
12	10月18日(水)	マックスバリュ亀山みずほ台店	5
13	11月8日(水)	昼生小学校6年	10
14	11月24日(金)	亀山西小学校6年	89
15	1月31日(水) 2月1日(木)	亀山高等学校 総合生活科	34
16	2月9日(金)	亀山東小学校4年	65
17	2月14日(水)	関中学校1年	41
18	2月16日(金)	福祉委員(新任)	30
19	2月26日(月)	川崎小学校4年	66
20	2月29日(木)	加太小学校6年	5

21	3月5日(火)	亀山南小学校3年	18
		計	465

令和4年度 実施回数：16回、参加者：490名

### ③認知症初期集中支援チーム員（カナリアチーム）の配置

カナリアチーム員が認知症の人や疑いのある人と家族に対して、チーム員医師と支援について協議し、集中的・包括的な支援を行い、適切な医療や福祉サービスにつなげられるよう支援しました。

#### (1) 相談件数 (単位：件、名)

	5年度	4年度	増減
相談件数	297	207	90
初期集中支援チーム支援対象者数	12	12	0

#### (2) 認知症関係会議への参画

市が主催する認知症関係会議(認知症初期集中支援チーム活動検討委員会含)に参画し、認知症施策に関する報告や課題の評価・検討等をチーム員医師・サポート医と共に協議しました。

開催日 令和5年6月19日(月)、令和6年2月19日(月)

#### (3) 認知症初期集中支援チーム活動検討委員会の開催

認知症初期集中支援チーム活動における事業進捗管理、チームの実績報告・課題の検討意見交換などを市地域福祉課やチーム員医師・サポート医と共に協議しました。

開催回数：2回 ※認知症関係会議と同日開催

#### (4) チーム員会議の開催

チーム員医師とケースについて情報共有し、個別ケースでの関わり方や支援について方向性の確立と見直しを行いました。

開催回数：12回開催(月1回開催)



## 5 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】

### 1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（令和6年3月31日現在）

・常勤：2名、登録：8名 <前年度末 常勤：2名、登録：10名>

#### ①介護保険制度

##### （1）訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	5年度	4年度	増減
利用延べ人数	287	323	△36
派遣延べ回数	4,636	6,059	△1,423
事業収入	16,488,425	19,885,408	△3,396,983
派遣時間数	3,498	3,930.25	△432.25

##### （2）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に、介護予防を目的として調理、洗濯などの日常生活上の支援を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	5年度	4年度	増減
利用延べ人数	190	213	△23
派遣延べ回数	1,013	1,213	△200
事業収入	3,077,164	3,722,817	△645,653
派遣時間数	938.75	1,145	△206.25

#### ②障害者総合支援制度

##### （1）居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	5年度	4年度	増減
利用延べ人数	194	215	△21
派遣延べ回数	1,306	1,715	△409
事業収入	3,429,947	5,000,771	△1,570,824
派遣時間数	1,134	1,352	△218

## (2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に外出するための移動支援を行いました。  
(単位：名、件、円、時間)

	5年度	4年度	増減
利用延べ人数	13	9	4
派遣延べ回数	32	17	15
事業収入	97,389	81,573	15,816
派遣時間数	22.5	26	△3.5

## ③地域生活支援事業<市委託事業>

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いますが、令和5年度は利用実績がありませんでした。

## 2 生活介護事業 【指定障害福祉サービス事業所「つくしの家」】

### ①職員配置 (単位：名)

職名		つくしの家	
管理者		1	
サービス管理責任者		1	
医師(嘱託医)		1	
看護師		1	
生活支援員	常勤	正規	1
		非常勤	5
	非常勤(登録)		4

### ②利用実績(定員30名) (単位：名、回、円)

	5年度	4年度		増減
		つくしの家	なかまの部屋	
利用者数	30	28	5	△3
延べ利用人数	5,257	4,543	514	200
事業収入	43,071,952	35,357,951	5,574,003	2,139,998

### ③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

令和5年度はコロナ禍前の行事も少しずつ再開し、外出の機会も取り入れることができました。

実施日	行事名	場所
4月5日（水）	季節の行事（お花見ウォークラリー）	亀山公園
5月19日（金）	デリバリーランチ	つくしの家
5月29日（月）	スカットボール大会について	つくしの家
6月13日（火）	季節の行事（花菖蒲園見学）	亀山公園内花菖蒲園
7月7日（金）	季節の行事（七夕茶会）	つくしの家
8月22日（火）	季節の行事（夏祭り）	つくしの家
9月26日（火） 28日（木） 29日（金）	外食行事（すみれカフェへ行こう）	すみれカフェ
10月20日（金）	運動会	つくしの家
10月31日（火）	季節の行事（ハロウィンパーティー）	つくしの家
11月17日（金）	ハイキング	中勢グリーンパーク
12月22日（金）	季節の行事（クリスマス会）	つくしの家
1月4日（木）	初詣	亀山神社
1月12日（金）	二十歳のお祝い会	つくしの家
2月2日（金）	季節の行事（節分）	つくしの家
2月14日（水）	季節の行事（バレンタイン喫茶）	つくしの家
3月1日（金）	季節の行事（ひなまつりお茶会）	つくしの家
<p>◆余暇活動 軽スポーツ（ウォーキング・ボッチャ・モルック・スカットボール・ビーンボーリング等） 制作活動（写真パネルづくり・折り紙・アートタイム等）</p> <p>◆体調チェック 看護師によるバイタルチェック（週1回） 健康診断（年1回） 歯科検診（年1回） 嘱託医師による定期健診（年2回）</p> <p>◆その他 避難訓練（年3回、内2回は全館避難訓練）</p>		

#### ④地域交流

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、少しずつ地域交流も再開することが出来ました。中学生職場体験の受入をはじめ、白川小学校や西部地区民生委員・児童委員との交流会も実施することができ、体験や交流を通じて、障がい者への理解を深めてもらえるよう啓発に努めました。

実施日	行事名	場所
8月22日(火)～24日(木)	夏休み中学生福祉体験教室 亀山中学校 3年生 8名	つくしの家
9月13日(水)～15日(金)	亀山市中学生職場体験 亀山中学校 2年生 1名	つくしの家
9月25日(月)	白川小学校 全校交流会	つくしの家
11月29日(水)～ 12月1日(金)	インターンシップ あけぼの学園 2年生	つくしの家
11月30日(木)	白川小学校 ふれあい集会	白川小学校
11月14日(火)	西部地区民生児童委員協議会との交流会	つくしの家

#### ⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあった軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

委託先	作業内容
(株)アシベ工芸	ろうそく箱詰め
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業
自主作業(佐藤商店)	アルミ缶つぶし

#### ⑥利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、利用体験実習の受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校2年	男	令和5年10月16日～10月27日
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校1年	男	令和6年1月22日～1月26日

#### ⑦運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画等について、また今後の事業運営について協議を行いました。

実施日	内容
2月5日(月)	令和5年度事業経過報告について 令和6年度事業運営について

### 3 日中一時支援事業 <市受託事業>

障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息ができるよう実施しました。主に生活介護の開所時間外の利用や、特別支援学校生徒の利用がありました。

(単位：名、円)

	5年度	4年度	増減
契約者数	29 (うち生徒2名)	27 (うち生徒2名)	2
延べ利用人数	161	106	55
事業収入	231,450	147,680	83,770

### 4 特定・障害児相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

#### ①特定相談支援

(単位：名、円)

	5年度	4年度	増減
契約者数	72	73	△1
事業収入	2,835,350	2,682,465	152,885

#### ②障害児相談支援

(単位：名、円)

	5年度	4年度	増減
契約者数	11	13	△2
事業収入	384,682	459,231	△74,549

### 5 社会福祉センターの運営 <市補助事業>

#### ◆年間利用状況 <3階集会室>

(単位：件、名)

	5年度	4年度	増減
利用件数	484	452	32
利用人数	9,122	8,209	913

#### ◆主な工事及び修繕の執行状況】※契約金額10万円以上

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	令和5年5月12日	令和5年8月18日
給水ポンプ交換工事	令和6年1月29日	令和6年3月20日
誘導灯バッテリーの交換工事	令和6年2月19日	令和6年3月29日

## 6 その他

### ①関係機関への協力、参加（主なもの）

（単位：回）

委員会名	実施主体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市法福連携ネットワーク協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	3	会長 次長
亀山市民生委員推薦会委員会	健康福祉部 地域福祉課	3	会長
亀山市高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 地域福祉課	4	会長 次長
亀山市高齢者福祉計画策定調整会議	健康福祉部 地域福祉課	2	次長
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 地域福祉課	1	局長
亀山市要保護児童等・DV対策地域協議会	健康福祉部 子ども未来課	1	会長
亀山市共同募金運営委員会及び審査委員会	亀山市共同募金委員会	2	会長 局長
社会を明るくする運動亀山市推進委員会	社会を明るくする運動亀山市推進委員会	1	会長 局長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
亀山市スポーツ協会監査及び通常総会	亀山市スポーツ協会	2	局長
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 まちづくり協働課	4	次長
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	18	次長
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	局長
介護保険事業計画策定部会	鈴鹿亀山地区広域連合	5	局長
北勢地区福祉有償運送運営協議会	北勢地区福祉有償運送運営協議会	2	次長
三重県社会福祉協議会役員会及び理事会	三重県社会福祉協議会	6	会長
三重県社会福祉施設職員研修委員会	三重県社会福祉協議会	3	局長
みえ福祉の「わ」創造事業監査及び運営委員会	三重県社会福祉協議会	2	局長

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図 【令和6年3月31日現在】

